令和5年度 奈良市地域自立支援協議会 触法障がい者支援グループ 活動計画

目的	司法関係者、福祉(障がい者支援)関係者を中心に、様々な理由により法に触れる行為に至る、または繰り返す障がい者がいる現状に対して、多職種協働による支援体制の構築と連携強化を図る。
テーマ 取り組み ポイント	1. 主に地域生活を支える福祉サービス事業所(生活支援、就労支援、居宅介護、グループホーム等の各事業所)について、触法障がい者支援の理解促進と受け入れの拡大を目指す。 2. 福祉・司法等の多職種協働と連携の強化を図る。
検討内容	① 触法障がい者支援に関する事例検討 ・触法障がい者支援に関する事例検討を行い、具体的な多職種連携モデル事例を蓄積する。加えて、 触法障がい者支援についての地域課題明確化に繋げる。 ② 研修の実施 ・事業所や地域への触法障がい者支援に関する理解促進と啓発を目的とした研修を実施する。 ③ 各機関の事業、触法障がい者支援に関する活動、研修の共有 ・触法障がい者支援に関する事業、取り組み、研修会等の情報について、情報共有を行い、課題検討、連携、参加促進などを行う。
部会の頻度	2ヶ月ごと(検討内容に関しての調整会議、チームワーキングは随時行う。) 実施予定月:令和5年4・6・8・10・12月、令和6年2月
参加団体・機関	 ◎相談支援センターこすもす ・ならまち法律事務所 ・法テラス奈良法律事務所 ・奈良法務少年支援センター ・奈良県地域生活定着支援センター ・所と、アワーク 空と海 ・ホホエモ ・奈良県発達障害者支援センターでいあー ・奈良市基幹相談支援センター ・奈良市社会福祉協議会 奈良事業所(地域自立支援協議会事務局)
研修・調査等 の実施につい て	① 研修会 ・実施方法については要検討。新型コロナウイルス感染拡大状況を見ながら計画を進めていく。 ・日時:令和5年9月頃に予定。 ・研修対象:障がい者福祉関係者、司法関係者等。